

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年10月9日

【四半期会計期間】 第31期第3四半期(自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)

【会社名】 テクノアルファ株式会社

【英訳名】 Techno Alpha Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 青島 勉

【本店の所在の場所】 東京都品川区西五反田二丁目27番4号  
明治安田生命五反田ビル

【電話番号】 (03)3492 - 7421(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画室 マネージャー 前田 資之

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区西五反田二丁目27番4号  
明治安田生命五反田ビル

【電話番号】 (03)5745 - 9722

【事務連絡者氏名】 経営企画室 マネージャー 前田 資之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第30期 第3四半期 連結累計期間	第31期 第3四半期 連結累計期間	第30期
会計期間	自 2018年12月1日 至 2019年8月31日	自 2019年12月1日 至 2020年8月31日	自 2018年12月1日 至 2019年11月30日
売上高 (千円)	2,507,876	1,668,290	3,422,530
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	201,630	67,134	300,664
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 ( ) (千円)	156,714	48,055	224,614
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	157,655	51,188	228,627
純資産額 (千円)	1,430,368	1,397,178	1,501,340
総資産額 (千円)	2,092,128	2,013,893	2,230,224
1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期純損失 ( ) (円)	88.74	27.21	127.20
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	68.4	69.4	67.3

回次	第30期 第3四半期 連結会計期間	第31期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年6月1日 至 2019年8月31日	自 2020年6月1日 至 2020年8月31日
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失 ( ) (円)	9.39	15.72

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業への影響については、今後も注視してまいります。

## 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間においては、国内外において新型コロナウイルスによる先行きの不透明感が継続する中、当社グループは、可能な限りの在宅勤務体制を取り、お客様への商品・サービスの供給継続に努めるとともに、対面での活動が制限される中、オンラインでの営業活動を推進し、主な課題である新たな商材・マーケットの開拓、事業間の連携と開発力の強化およびサイエンス事業の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,668,290千円(前年同四半期比33.5%減)、営業損失は91,112千円(前年同四半期は、173,577千円の営業利益)、経常損失は67,134千円(前年同四半期は、201,630千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は48,055千円(前年同四半期は、156,714千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### エレクトロニクス事業

当事業においては、パワー半導体製造装置などの販売強化とともに、当社製装置を含む製造ライン一式での販売強化等に注力しております。当第3四半期連結累計期間においては、商材により好不調はあるものの、比較的大型の装置類の受注・販売が低調であるとともに、当社製装置を含む製造ライン一式での案件の予定時期の延期等により、売上高は869,684千円(前年同四半期比38.7%減)、営業損失は11,620千円(前年同四半期は、142,498千円の営業利益)となりました。

#### マリン・環境機器事業

当事業においては、ライフポートおよびポートダビットの販売強化に加え、新たな主力商材として、海外メーカー製船用クレーン等の甲板機器の販売強化に注力しております。当第3四半期連結累計期間においては、新たな商材である船用クレーンを含む前連結会計年度までに受注した船用機器を予定通りに販売し、売上高は349,898千円(前年同四半期比20.3%減)、営業利益は77,770千円(前年同四半期比9.0%減)となりました。

#### SI事業

当事業においては、ASEAN諸国における計測・制御システムのインテグレーションサービスの営業の強化およびプログラミング教育分野の開拓等に注力しております。当第3四半期連結累計期間においては、ASEAN諸国におけるビジネスは堅調に成長しつつあるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響による営業活動の制限、案件の延期・凍結等、国内におけるシステムインテグレーションビジネスが低調であり、売上高は361,585千円(前年同四半期比33.2%減)、営業損失は71,917千円(前年同四半期は、36,837千円の営業利益)となりました。

#### サイエンス事業

当事業においては、自社製品、国内メーカー製計測機器および中古機器の販売とともに、海外メーカー製イメージング関連機器の開拓および販売強化に注力しております。当第3四半期連結累計期間においては、業績は改善しつつあるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響による営業活動の制限、国際渡航制限による輸出入商品の検収時期の後ろ倒しなどがあり、売上高は87,122千円(前年同四半期比20.1%減)、営業損失は4,536千円(前年同四半期は、11,265千円の営業損失)となりました。

### (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,013,893千円(前連結会計年度末比216,331千円の減少)となりました。これは主に、現金及び預金の増加353,449千円の方で、売掛金の減少681,440千円等による流動資産の減少213,693千円ならびに繰延税金資産の増加23,774千円の方で、有形固定資産の減少6,610千円、無形固定資産の減少4,187千円および投資有価証券の減少18,654千円等による固定資産の減少2,638千円によるものであります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,397,178千円(前連結会計年度末比104,162千円の減少)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少101,029千円およびその他有価証券評価差額金の減少2,876千円によるものであります。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、69.4%(前連結会計年度末比2.1ポイント増)となりました。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年10月 日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,316,000	2,316,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注)1、2
計	2,316,000	2,316,000		

(注) 1 単元株式数は100株であります。

2 当社の発行済株式は、すべて株主としての権利に制限のない、標準となる株式であります。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年6月1日 ～2020年8月31日		2,316,000		100,210		75,210

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直近の基準日(2020年5月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 550,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,764,100	17,641	
単元未満株式	普通株式 1,800		
発行済株式総数	2,316,000		
総株主の議決権		17,641	

## 【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式)					
テクノアルファ株式会社	東京都品川区西五反田二 丁目27番4号 明治安田生命五反田ビル	550,100	-	550,100	23.75
計	-	550,100	-	550,100	23.75

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年6月1日から2020年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年12月1日から2020年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	338,904	692,353
受取手形	46,112	33,850
電子記録債権	13,414	26,977
売掛金	899,183	217,742
商品	173,359	234,208
仕掛品	84,800	46,446
その他	105,044	195,545
貸倒引当金	84	84
流動資産合計	1,660,734	1,447,041
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産	190,932	184,322
無形固定資産		
その他	12,043	7,856
無形固定資産合計	12,043	7,856
投資その他の資産		
投資有価証券	235,638	216,984
繰延税金資産	40,549	64,323
その他	90,326	93,365
投資その他の資産合計	366,514	374,673
固定資産合計	569,490	566,851
資産合計	2,230,224	2,013,893

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	204,536	97,738
短期借入金	200,000	200,000
リース債務	1,767	1,416
未払法人税等	31,056	4,387
賞与引当金	-	13,197
その他	181,132	78,619
流動負債合計	618,493	395,358
固定負債		
長期借入金	-	100,000
リース債務	3,336	2,363
退職給付に係る負債	47,568	51,024
役員退職慰労引当金	52,614	61,055
資産除去債務	3,350	3,356
その他	3,521	3,554
固定負債合計	110,390	221,356
負債合計	728,884	616,714
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,210	100,210
資本剰余金	121,646	121,646
利益剰余金	1,937,037	1,836,007
自己株式	657,398	657,398
株主資本合計	1,501,495	1,400,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	337	3,214
繰延ヘッジ損益	183	73
その他の包括利益累計額合計	154	3,287
純資産合計	1,501,340	1,397,178
負債純資産合計	2,230,224	2,013,893

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年8月31日)
売上高	2,507,876	1,668,290
売上原価	1,699,133	1,146,818
売上総利益	808,742	521,472
販売費及び一般管理費	635,165	612,585
営業利益又は営業損失( )	173,577	91,112
営業外収益		
受取利息	6,150	6,094
受取配当金	4,470	4,444
助成金収入	2,000	20,826
保険返戻金	21,327	634
その他	945	452
営業外収益合計	34,894	32,451
営業外費用		
支払利息	625	649
為替差損	6,036	7,720
支払手数料	107	53
その他	72	49
営業外費用合計	6,842	8,473
経常利益又は経常損失( )	201,630	67,134
特別利益		
固定資産売却益	7,898	-
特別利益合計	7,898	-
特別損失		
固定資産除却損	189	-
リース解約損	120	-
役員退職慰労金	4,819	300
特別損失合計	5,128	300
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	204,400	67,434
法人税、住民税及び事業税	47,928	3,012
法人税等調整額	243	22,391
法人税等合計	47,685	19,378
四半期純利益又は四半期純損失( )	156,714	48,055
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	156,714	48,055

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	156,714	48,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,165	2,876
繰延ヘッジ損益	1,224	256
その他の包括利益合計	940	3,132
四半期包括利益	157,655	51,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,655	51,188
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当座貸越契約

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
当座貸越極度額	1,000,000千円	1,000,000千円
借入実行残高	200,000千円	200,000千円
差引額	800,000千円	800,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
減価償却費	20,545千円	19,904千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月27日 開催定時株主総会	普通株式	47,679	27.00	2018年11月30日	2019年2月28日	利益剰余金

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
 後となるもの  
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月27日 開催定時株主総会	普通株式	52,974	30.00	2019年11月30日	2020年2月28日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には設立30周年記念配当3円が含まれております。

- 2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
 後となるもの  
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	サイエンス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,418,108	439,188	541,515	109,063	2,507,876
セグメント間の内部売上高又は振替高	416	-	147	-	563
計	1,418,524	439,188	541,663	109,063	2,508,439
セグメント利益又は損失( )	142,498	85,463	36,837	11,265	253,534

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	253,534
全社費用(注)	79,956
四半期連結損益計算書の営業利益	173,577

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	サイエンス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	869,684	349,898	361,585	87,122	1,668,290
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	-	-	-	12
計	869,696	349,898	361,585	87,122	1,668,303
セグメント利益又は損失( )	11,620	77,770	71,917	4,536	10,303

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	10,303
全社費用(注)	80,809
四半期連結損益計算書の営業損失( )	91,112

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失 ( )	88円74銭	27円21銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失( ) (千円)	156,714	48,055
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又 は親会社株主に帰属する四半期純損失( ) (千円)	156,714	48,055
普通株式の期中平均株式数(株)	1,765,885	1,765,816

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月8日

テクノアルファ株式会社  
取締役会 御中

### 三優監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	山	本	公	太
指定社員 業務執行社員	公認会計士	川	村	啓	文

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているテクノアルファ株式会社の2019年12月1日から2020年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年6月1日から2020年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年12月1日から2020年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、テクノアルファ株式会社及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。